

「牛はデリケートな生き物」と鈴木さん。
牛舎では、ストレス防止のため、常に音楽が流されている。



Reporter
辰巳琢郎

日々食べている美味しい牛肉。とはいえ、どんなところで育ち、どのように食卓に届くのかは、意外に知らないもの。そこで、美味しい肉牛の産地である福島県の黒毛和牛の肥育農家を、「あったかふくしま観光交流大使」で食通としても有名な俳優の辰巳琢郎さんが訪ね、その育て方を探った。



次週は、キャスターの木場弘子さんが、主婦の立場から食肉流通センターなどを取材。安全で美味しい牛肉を食卓に届けるしくみを紹介する。

Next Week

高村光太郎の詩集「智恵子抄」に、「牛」と題した詩がある。(牛はのろのろと歩く牛は野でも山でも道でも川でも自分の行きたいところへはまっすぐに行く)
詩人は、妻のふるさと安達で見た情景に触発され、この詩を作ったのか。その智恵子の生家同様、安達太良山の裾野に位置する福島県大玉村は、現在も、畜産の盛んなところ。辰巳琢郎さんが訪ねた鈴木廣直さん(62)は、この村で約

50頭の黒毛和牛を飼養する肥育農家である。風格のある牛舎を見学しながら、「どの牛も立派な骨格をしていますね。子牛の良し悪しは、どこで見分けるのですか?」と問う辰巳さんに、この道40年、練達の畜産家という。「眼が澄んでいること。それから私は前肩の幅が広い牛が

牛は生まれると10桁の個体識別番号が与えられ、この数字の書かれた耳標が取り付けられる。これにより、販売されるすべての牛肉は、産産地を辿ることができる。

鈴木さんの農場の稲わら保管スペース。牛は1頭あたり毎日1〜1.5kgの稲わらを必要とする。



好み。性格的に物怖じしない牛も育てやすいといえます」鈴木家は、元来、稲作農家だったが、廣直さんが高校を卒業した年に生産調整が始まり、廣直さんは、将来を見据えて畜産農家を志す。「福島県の種畜牧場で1年間研修した後、19歳で就農しました。ホルスタイン種の肥育から始めて交雑牛に転換。20年前から黒毛和牛の肥育を手

掛けています」

高級ブランドの肉牛は、生後9カ月前後の子牛をせりで購入し、美味しい肉質になるように肥育し、30カ月程度の月齢になると出荷されてゆく。鈴木さんの農場では、県内と県外の子牛の比率は半々くらいという。「美味しい牛肉をつくるポイントは何でしょう?」そんな質問に、鈴木さんが、「まずは血統が物をいう。それから環境。要は、いかに手間暇をかけるかということ」と答える。

頭検査体制が

整備され、出荷が再開されて以降も、福島県の牛肉の取引価格は、大きく値崩れしたまま。鈴木家の居間には、生産牛が賞を獲得したことを示すカップや賞状が所狭しと飾られている。そのひとつを指差し、「昨年の7月、生産牛が肉用牛共励会で入賞したけど、その肉がせりいで1キ2000円に達しなかったのには、さすがに落ち込んだ。よい牛を生産しても値段で評価してもらえない」と鈴木さんは嘆く。



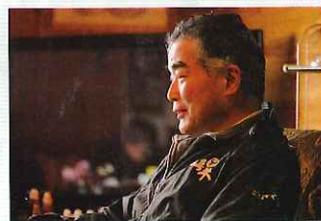
「飼料は、トウモロコシ、大麦、フスマ、大豆かすなど。95%は輸入です」と北日本くみあい飼料株式会社福島営業所長の吉田洋一さん。

鈴木さんは、偶々、地震の前に収穫した稲わらをストックして、現在もそれを使用している。もちろん、家畜保健衛生所の検査も受け、自分でも恒常チェックを欠かさない。現状は完全に赤字経営だが、JAみちのく安達の肉牛部会会長、JA福島肉牛振興協議会会長でもあり、県内産の子牛にこだわって買い求めている。

居間で鈴木さんの振舞う自家製和牛焼肉に舌鼓を打ちながら、辰巳さんがいう。「柔らかいのに歯応えがある。安全に万全を期してきちんと生産し、検査でもOKが

でているのに、風評被害が収まらない。それでも歯を食いしばって頑張っている鈴木さんのような農家には、頭が下がる思い。私たちは、福島県産牛を食べることでしか、応援できません。流される情報を見極める目を一層養い、農家のみなさんの努力に敬意を払っていききたいものです」鈴木さんの座右の銘は、「地に足をつけ汗を流し、自分なりの夢を信じて生きる」。「のろのろと牛歩であっても、自分の行きたいところへゆく。光太郎の詩ではないが、鈴木さんなら、きつとこの苦境を脱していかれると思います」

力福島第一原発事故により、深刻な打撃を蒙っている。昨年7月に浮上した汚染稲わら問題を機に、県の農業総合センターで全



5年に1度の和牛の祭典・全国和牛能力共進会が、今年10月長崎県で開催される。鈴木さんの生産牛も出場予定。



読者の皆様にJA全農より、福島県産肉牛をプレゼント! 詳しくは77ページのWatch&Try欄をご覧ください。



辰巳琢郎 (たつみ・たくろう) 1958年大阪生まれ。京都大学文学部卒。知性、品格、遊び心と三拍子揃った俳優として活躍。著書に「青春のヒント」「道草のすすめ」「辰巳ワイナリー」など。

「天皇陛下はご存じない」 術後不良

大震災一周年追悼式典の天皇陛下のご様子を見て、安堵した国民も少なくなかったに違いない。しかし、術後の過程は決して順調ではなかった。特に医師団を心配させたのは……。



医師団を不安にさせた
想定外の肺の水

消費税は野田総理の勝ち!

すでに勝負はついている! 小沢グループも自民党も「反対」はポーズだけ! すでに勝負はついている! 小沢グループも自民党も「反対」はポーズだけ! すでに勝負はついている! 小沢グループも自民党も「反対」はポーズだけ!

春と修羅

38

- 1 松山ケンイチが「杉村太蔵」と重なる「平清盛」ワースト3
- 2 今も自主トレ中という「ゴジラ」松井がユラオームを脱ぐか
- 3 40度ワカガ心友「山口美江」孤独死は2匹の犬に看取られた
- 4 高木守道「自衛隊」に囁かれているポケと天然ポケの境界線
- 5 チャンピオンベルトを巻いても「曙太郎」はバチンコ営業中
- 6 高橋英樹「愛娘の彼氏がヤフーNo.2に上りつめてお惚気
- 7 離婚を語らない宇宙飛行士「山崎直子」饒舌なる元夫の生業
- 8 逮捕の大物「金融ブローカー」の「自慢は元君島一郎別荘

年金を喰った蟻地獄「A」! 浅川社長の急所を握った「女帝」の脚線美

特別読物 誰も気づかず死んでいく 荒涼たる「孤独死」から尊厳の「自立死」へ

大人の健康講座「病に倒れる生き方」

▼人生道半ば60代までに若年性認知症になる人の習慣 ▼「早すぎたが通夜の合言葉になる40代50代突然死の方程式」 ▼「サプリメント代」が月3000円を超える健康マニアを待つ死神 ▼「医者でなくても判定可能」食道癌リスク30倍の顔面サイン ▼「年中ダイエット」で腹筋が割れたら確りやすい怖い病気 ▼「遺された妻子が世間に顔向けできない」腹上死「3大条件」 ▼「休日出勤」徹夜残業は身体にどれほどダメージか ▼「大腿骨骨折で寝たきり老人という」特急チケットの買い方

説き語り 日本書史

石川九揚

◆定価1050円(税込)

●新潮社

あとの祭り… 渡辺淳一 54

日本ルネッサンス… 櫻井よしこ 140

変見自在… 高山正之 142

おれのゴルフ… 青木 功 116

オモマンネックボム!… 川上未映子 57

TVふうりん録… 吉田 潮 63

サイエンス宅配便… 竹内 薫 59

明治めちやくちや物語… 野口武彦 60

がんの練習帳… 中川恵一 62

世間の値打ち… 福田和也 114

窓際のおすてんころりん日記… 斎藤由香 66

なんだかなア人生… 柳沢きみお 104

アルケミスト成クランシ漂流記… 青島広志 95

なちゅリズム… なちゅ 113

気になる手… 中原誠・小川誠子 68

私の週間食卓日記… 川村 光 102

文殊のストレッチ… 111

大人のマンガ 読むマンガ… 71

B級重大ニュース… 53

アスクレピオスの愛人… 林真理子 72

村上海賊の娘… 和田 竜 88

アバーサリ… 窪 美澄 96

黒い報告書… 降旗 学 107

◆新女句歌謡時記 富山光三郎(後方智)… 93

◆TV視聴室: 121

◆結婚: 118

◆聖降路: 119

◆掲示板: 78

◆ロビー/ビジネス… 28

◆インシデント/オーバーシーズ… 30

◆スポーツ/タウン/エンターテインメント… 32

◆マイオンリー 渡辺裕之… 37

◆ガイド/アーツ… 122

◆ブックス BOOK OF THE WEEK 渡辺十絳子… 124

◆スクリーン グレゴリー・スター… 127

◆週刊新潮メールアドレス: shuukan@shinchosha.co.jp

■表紙アートディレクション/三谷一郎 ■グラフィックデザイン/新美 稔(BOP) ■本文デザイン/伊藤晴夫・広瀬 潤 ■カット/峰村勝子